

令和6年1月9日

瀬戸内市議会議長

小谷 和志 様

瀬戸内市議会議員 川勝 浩子

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和5年 7 月 31 日 ~ 令和5年 8 月 1 日
研修会名	令和5年度 第1回市町村議会議員特別セミナー
開催場所	全国市町村国際文化研修所
研修目的・ 内容	<p>目的：「まちづくり」というテーマのもと、各分野でご活躍の方からご講演をいただき、改めて地域を見つめ直すとともに、議員に求められる役割について多角的に考えるため。</p> <p>1・脱炭素先行地域「真庭」の挑戦 ～地域資源を生かした真庭市の戦略～ 岡山県真庭市 市長 太田 昇 氏</p> <p>2・未来の年表 ～人口減少日本で地域に起きること、すべきこと～ (一社)人口減少対策総合研究所 理事長 河合 雅司 氏</p> <p>3・Z世代とこれからのまちづくり 芝浦工大 教育イノベーション推進センター 教授 原田 曜平 氏</p> <p>4・その地域づくり、古くない？ ～全国280以上の自治体と共創してきた、地域づくりの秘訣～ 株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴 氏</p>



所 感

本市と同じ脱炭素先行地域の真庭市では、地域の解決すべき問題を、地域が持つ可能性（個性）にとらえ、真庭ライフスタイルの特徴に取り入れている。地域資源を生かした“回る経済”という視点で事業を展開している。など、参考にできることはあると思った。

ベストセラー未来の年表の著者の講義では、今のままでは、将来はこうなるとのデーターを示された上で、自治体に求められることとして、①枠を超える視点。②多極集住に向けた人口集住。③地域自立型企業の立地。④移住促進より女性の流出防止。

との提案があった。④以外はすぐに取り組むことは難しい。できることから考えていきたい。

あわえの挑戦では、若者あふれる東京で採用に苦戦。東京とは違うルールで戦うと過疎地に進出したことで、問題解決。都市では出来ない暮らし方を提案することで社員は3倍。人口減少化でも挑戦者が集い、新たな変化が生まれ続ける“にぎやかな”町を作る、作れる。チャレンジが多ければ、にぎやかな過疎地になるとの、勢いのある講義に圧倒された。今までの常識ではなく、新たなチャレンジ、提案していくことの大切さを学んだ。